

国内最大規模の起業支援プログラム「1stRound」に慶應義塾大学 環境情報学部・宮本佳明准教授のチームと、環境情報学部・田中浩也教授、政策・メディア研究科・松岡康友特任准教授のチームが採択

学校法人慶應義塾が東京大学協創プラットフォーム開発株式会社(本社:東京都文京区本郷、代表取締役社長 植田浩輔、以下、「東大 IPC」)ならびに国内 12 大学と共催する起業支援プログラム「1stRound」の第 9 回支援先に、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス(以下、「SFC」)から研究成果の社会実装を目指す 2 チームが採択されました。本学は、2023 年に本プログラムの共催大学として参画し、第 9 回から初めて慶應義塾大学に関連するチームが応募できるようになりました。今回選ばれたのは、SFC の宮本佳明准教授(環境情報学部)のチームと、田中浩也教授(環境情報学部)と松岡康友特任准教授(政策・メディア研究科)のチームです。

両チームは共に、本学での研究成果を事業化するために、イノベーション推進本部スタートアップ部門による客員起業家の採択とチーム参画、創業融資や助成金などの資金獲得、法人登記や口座開設などの創業手続き等の各種の伴走支援を受けながらスタートアップを創業し、各技術の社会実装に向けた活動を進めています。1stRound からは、株式対価のない活動資金や経営リソース等の支援を受け、支援期間の 6 ヶ月間でコーポレートパートナーとの協業・実証実験や最初の資金調達を検討していきます。

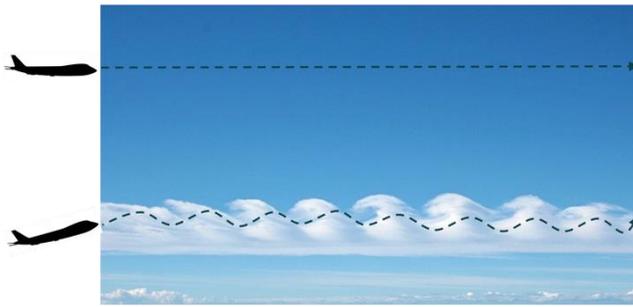
<1stRound について>

「1stRound」は、大学に関連する優れた技術や着想の事業化、社会実装を支援する国内最大規模の大学横断型起業支援プログラムです。採択後はハンズオン支援および各社最大 1,000 万円の活動資金の提供に加え、コーポレートパートナーとの協業機会の創出にも注力しています。その他、経営人材の育成・発掘、事業連携等のネットワークを共有することで大学の垣根を超えたベンチャー創出および育成を目指しています。学校法人慶應義塾は、2023 年に同プログラムの共催大学として参画しました。

<https://www.1stround.jp/>

【宮本佳明准教授の研究プロジェクト概要】

宮本准教授のチームは、ANA グループとの産学連携による内閣府の「課題解決に向けた先進的な衛星リモートセンシングデータ利用モデル実証プロジェクト」(2019、2021 年度)や、経済産業省の「オープン&フリー衛星データ実証事業」(2020 年度)の研究成果の事業化を目指し、2023 年に BlueWX 株式会社を設立しました。AI を用いた予測精度の高い乱気流予測システムを構築することで、風の事故のない安全な未来を目指しています。



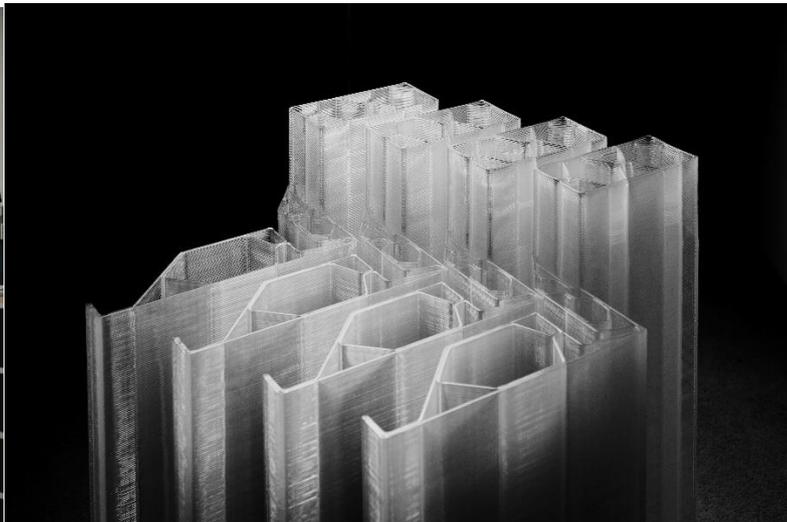
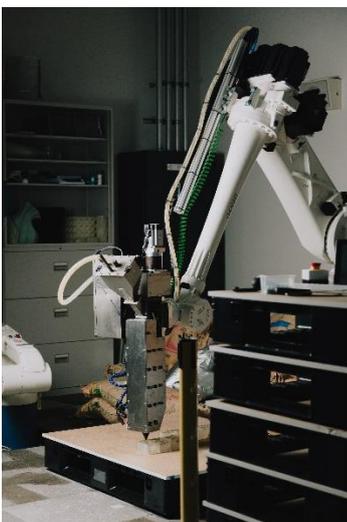
【宮本佳明准教授のコメント】

宮本佳明准教授 (BlueWX 株式会社 創業者)

慶應義塾大学と ANA グループの産学連携による共同研究の成果を事業化するにあたり、1stRound に採択され大変嬉しく思います。起業までの道のりを支援いただいたスタートアップ部門その他学内関係者の皆様にも感謝申し上げます。これまで研究のみを行ってきた私にとっては、わからないことばかりで、様々な方からご支援をいただき進めることができています。今回いただいた機会を大切にして、研究成果の社会実装を実現できるよう取り組んで参りたいと思います。

【田中浩也教授・松岡康友特任准教授の研究プロジェクト概要】

田中教授・松岡特任准教授のチームは、国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) による COI プログラム「感性和デジタル製造を直結し、生活者の創造性を拡張するファブ地球社会創造拠点 (2013~2021)」、共創の場形成支援プログラム (COI-NEXT) 「デジタル駆動 超資源循環参加型社会 (2021~2022)」を通じて、建築用大型 3D プリンタ ArchiFab シリーズの開発を進めてきました。これまでの研究成果について新規事業を通して社会実装するために、2023 年に「建築 3D プリント技術で循環型社会の実現に貢献」を目指して、株式会社 Digital Archi を設立しました。



【田中浩也教授・松岡康友特任准教授のコメント】

田中浩也教授・松岡康友特任准教授(株式会社 Digital Archi 共同創業者)

創業間もないスタートアップにとって、事業を立ち上げるという高いハードルを越えてゆくためには、多くの方々からの支援が不可欠です。1stRound は資金面のみならず大企業との協業の機会が得られるなど多様な支援を得られる、とてもスタートアップ・ファーストなインキュベーションプログラムだと感じています。これまで慶應義塾大学が国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)のCOIとCOI-NEXT プロジェクトで研究開発してきた技術をもとに、スタートアップ部門の支援を受けながら新会社を創業いたしました。我々のスタートアップには既にたくさんの人の期待・思い・願いが寄せられていることを改めて認識しています。感謝と初心を忘れることなく、この度の本採択を励みにますます事業を加速してまいります。

【本件についてのお問合せ先】

E-mail: 慶應義塾大学イノベーション推進本部スタートアップ部門
Email : info-startup-group@keio.jp <https://innov.keio.ac.jp/about/>

【配信元】

慶應義塾大学 湘南藤沢事務室 学術研究支援担当
E-mail:kri-pr@sfc.keio.ac.jp